

保険を使った自分年金 積立金額に応じて設計

1 自分専用の年金のことを「自分年金」というようです。自分年金を作るといふのであれば、生命保険を使って設計するというのはごく自然な考え方でしょう

2 ところで、既存の年金保険の中には、元本が減らないタイプのもがあります。相続財産として遺したいけど、利息部分は自分たちで使ってしまうというものです

3 一方、一般の年金保険は、最終的には、元本がゼロになるものです。分配金の大きい投資信託も、年金保険の一種と考えることができますね

自分年金を年金保険で準備

老後の生活資金の確保として自分年金を準備しようといわれることがあります。自分年金を考えると、年金保険を使ってみようというのは、一般的な考え方です。

平準払か一時払かを決めてしまえば、年金額から保険料を決めることができます。一番簡単な自分年金の作り方は、年金保険を使うことです。

元本が減らない年金保険

ところで、年金保険の中には元本（年金原資）が減らないタイプのもがあります。運用利回り得られる増加分だけを年金として受け取るのであれば、元本は減らないというのが考え方です。

資金に余裕があり、相続財産として考えているが、相続までの間に発生する利息は自分たちで使ってしまうという商品です。



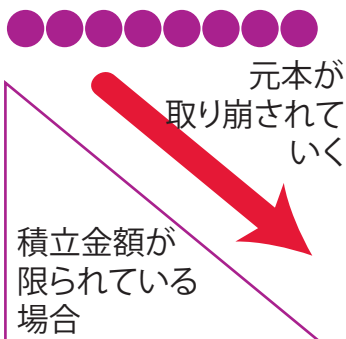
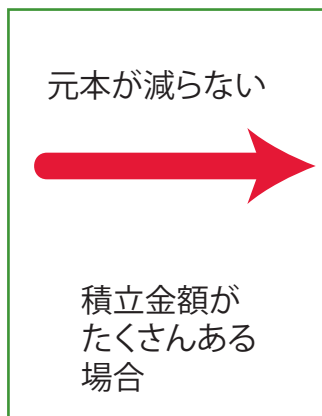
通常の年金保険は

通常の年金保険は、利息部分と元本部分の取り崩しを併せて年金とします。最終的には、元本は取り崩されてゼロになります。

このしくみは、分配金の大きい投資信託と同じです。運用をしながら、元本を取り崩して年金を受け取れるのですから、シニア向けの金融商品といえるでしょう。

信託を使って同じようなしくみを作ることができるのですが、保険であれば、より簡単に実現することができます。

自分年金の考え方



生命保険に関する相談はお気軽に

Barms
Corporation Co., Ltd.

発行元:バームスコーポレーション(有)
神奈川県川崎市宮前区土橋2-2-2-301
tel (044) 854-8480 fax (044) 856-7268
mail pinfo@barms.jp http://www.barms.jp